

食卓から考える北海道の食生活と産業！

今号から生活のもっとも重要なテーマであり、産業への波及や関連も強い「食」を取り上げます。

地方別に見た食品支出の特徴

～米と魚介類を最もよく食べ、牛乳をあまり飲まない

北海道人～

総務省統計局の家計調査では200種以上にわたる食品の支出額を毎月調査しており、食品項目別に見ていくと地方ごとに何をよく食べ、何をあまり食べない^{*}かがわかる。

表1で北海道、東北などの地方別の1人当たりの品目別支出金額について2012年、13年、14年の平均値を算出し、穀類、魚介類などの中分類で整理した。中分類で見ると、1人当たり支出額が1～2位の上位が多いのは関東と近畿であり、何でもよく食べるということが言える。関東は外食や調理食品への支出が一番多く、近畿は穀類、肉類、乳卵類への支出が一番多い。支出額が最下位、9位の項目が目立つのは東北と九州・沖縄であり、上位の食品項目は東北の酒類のみである。四国は果物が1位で、肉類をはじめ2位の食品項目が4つある。北陸、東海、中国は上位（1、2位）、下位（9位）の食品項目ともに少ないか0である。このことは、多くの食品項目で中位レベルの支出をしているということであり、突出して多く食べているものはないが、逆になんでも満遍なく食べていると言える。

北海道は穀類のうちの米や、魚介類が全国1位であり、農業や漁業の主要生産地らしい結果が出ている。酒類も1位の支出額でありアルコール好きの地域性を示している。調理食品や外食が下位なのは自炊や家庭の食卓を囲んでの食事が多いことを示していると言える。乳卵類のうちの牛乳は主要生産地（酪農王国）であるにもかかわらず消費（1人当たり支出）が最下位であり、地域内での生産と消費のギャップが大きい。

表2は、米と牛乳についての地方別の支出の比較である。米の1人当たり支出額（年間に1人が支出する額）が1万円を超えているのは北海道だけであり、東北の7,000円代をはじめ、他の地方と比較して突出し

た支出額である。近年、美味しい米が生産されるようになったといわれるが、このことと何らかの関係があるのかもしれない。牛乳は地方別の支出に大きな差はみられないが、北海道が最も支出額が少ない。消費者の牛乳離れがいわれて久しいなかでも、酪農王国である北海道の人がもっとも牛乳を飲まないという事実は、残念な思いを抱かせる。

食品細目別の支出にみる北海道の特徴

～北海道は関東に次いでよく食べる食品数が多い～

中分類の食品分類をさらに食品細目（りんご、みかんなど）の支出額で見えていく。表3では、200種以上にわたる食品について、1～2位の上位にある食品数と8～9位の下位にある食品数を数えたものである。

全国でもっともよく食べる（支出額が最大）食品の種類が多いのは、先述した中分類では関東と近畿であったが、食品細目でみると関東に次いで北海道に上位項目が多くなっている。

関東や近畿の大都市圏を抱える地域は、よく食べる食品数が多いのも特徴であるが、あまり食べない（支出額が下位）食品数が少ないのも特徴である。大都市圏の市場に全国の食べ物が集積し、市場へのアクセスの利便性が高いことなどが、こうした結果に出ていると推測される。

一方、東北や九州・沖縄はあまり食べない食品数が他の地方より突出して多いことが特徴である。大きな市場から離れていて多様な種類の食品が集積しにくく、選択性が低いことなどが要因に挙げられるかもしれない。

北陸や中国、東海地方はよく食べる食品数もあまり食べない食品数も他の地方と比較すると中位にある。地域産品をよく食べているとしても大都市圏への近接性や市場への近接性などにより、他の食品の選択性も高くなりやすいことから、食品の選択に極端な構造を持ちにくいのではないかと推測される。

^{*} 今回からの「食卓から考える」では「支出額が大きい、小さい」ことを、「消費額が大きい、小さい」や「よく食べる、あまり食べない」などの類似表現で表す場合があります。

表1 地方別1人当たりの品目別支出金額と特徴（2012年、2013年、2014年の平均支出）

（単位：円）

品目 (中分類)	全国	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄
穀類	26,483	27,994	21,826	26,910	26,281	26,007	29,029	26,003	27,108	24,557
米	9,057	11,610	7,227	8,956	9,325	9,131	9,650	8,143	8,528	9,190
魚介類	26,398	30,858	27,903	26,524	27,560	23,770	27,920	26,063	26,336	23,744
肉類	25,742	23,969	20,441	24,748	22,376	25,106	31,050	26,651	27,305	26,358
乳卵類	13,963	12,588	13,174	14,674	13,242	13,526	14,801	13,760	14,341	12,277
牛乳	5,207	4,354	5,125	5,156	5,287	4,972	5,967	5,499	5,634	4,596
野菜・海藻	34,137	34,199	33,027	37,111	33,663	30,204	36,274	29,914	31,075	29,704
果物	13,160	13,988	13,207	14,187	12,851	11,749	13,214	12,639	14,367	11,048
油脂・調味料	13,442	12,727	12,642	13,737	12,652	12,827	13,937	13,710	13,859	13,266
菓子類	27,574	27,899	25,765	29,156	26,902	26,813	27,738	26,309	28,055	25,006
調理食品	39,216	32,468	34,827	42,856	40,325	37,147	39,514	38,254	37,723	35,216
飲料	18,599	19,214	17,823	20,851	17,097	17,020	16,891	17,563	17,600	17,222
酒類	14,920	17,020	16,767	15,049	16,331	12,641	14,904	16,173	13,651	14,047
外食	66,836	52,660	43,545	78,745	56,236	69,320	66,602	56,939	63,935	57,159
贈い費	384	406	42	495	0	700	236	677	0	222

■ 食品別支出額が9地方の中で1位のもの ■ 食品別支出額が9地方の中で2位のもの ■ 食品別支出額が9地方の中で9位のもの

表2 米、牛乳の地方別支出額
(人口1人当たり2012~14年の平均)

(単位：円)

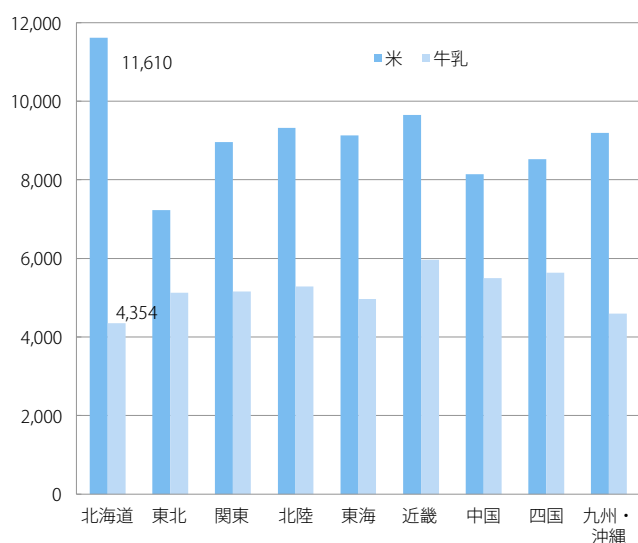


表3 地方別にみた支出額の上位下位食品数
(よく食べる、あまり食べない食品数)

9地方	1位の支出額の食品数	2位の支出額の食品数	8位の支出額の食品数	9位の支出額の食品数
	1、2位の食品数の合計		8、9位の食品数の合計	
北海道	42	18	26	18
	60		44	
東北	11	26	26	47
	37		73	
関東	52	19	17	2
	71		19	
北陸	18	15	19	16
	33		35	
東海	8	20	24	21
	28		45	
近畿	28	29	9	7
	57		16	
中国	10	18	19	10
	28		29	
四国	20	25	16	23
	45		39	
九州・沖縄	12	10	30	49
	22		79	

①家計調査結果（総務省統計局）の「都市階級・地方別1世帯当たりの品目別支出金額 合成表・総世帯」（平成24年計・平成25年計・平成26年計）を加工して作成。
「<http://www.e-stat.go.jp/SG1estat/List.do?lid=000001129439>」からアクセス。

②表1の人口1人当たりの支出額は、総務省統計局の調査結果の1世帯当たりの支出額を世帯人員で割り戻して計算し、その上で、平成24、25、26年3カ年の支出金額を抽出率調整した世帯数分布で加重平均したもの。